

静岡労働局 職業安定部 職業対策課

課長 伊藤 祥（昭和60年入省）



現在の業務内容について

所属する職業対策課では、高年齢者・障害者・外国人等の雇用対策、雇用関係各種助成金の審査・支給などの業務を行っています。昨年5月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響で休業を余儀なくされた事業所からの雇用調整助成金申請が急増し、従業員の雇用維持のため迅速な支給を最重要課題として取り組んでいます。

私の業務は課の責任者としてのマネジメント業務です。具体的には所掌業務の進捗管理、労働局内の他課室と連絡調整、地方自治体や関係機関との連携などを行っています。非常勤職員を含めて120名を超える職員が、各々の業務を円滑に進めることができるよう緊密な連絡や声かけを行って、問題点の改善や懸案事項への迅速な対応を心がけています。

労働局を選んだ理由

高校2年生で進学から就職希望に変更し、何とか国家公務員試験に合格したものの、どの省庁からも声がかからないまま卒業しました。3月中旬、面接の連絡をいただき、入职したのが現在の労働局です。選んだと言うよりも選んでもらった、という方が適切だと思います。通学路の途中にあった浜松職安が最初の勤務地だったのは、何かの「縁」だったのかもしれません。

公務員の職場でこんな仕事がしたい！という明確な希望はないまま仕事を始めた私ですが、入职して初めて「職安（←当時はハローワークという愛称はなかった）」の仕事が幅広く国民の皆様の生活を支える重要な業務であることを知りました。正確な事務処理を心がけ、傾聴スキルの向上やキャリアコンサルティングの資格取得などの自己研鑽をしながら担当業務に向き合い、今日に至っています。

皆さんへのメッセージ

厚生労働省全体で超過勤務の縮減やワーク・ライフ・バランスの実現に取り組んでおり、休暇も取りやすく働きやすい職場です。また、公務員の仕事は同じ事の繰り返しだ、という印象を持つ方もあるかもしれませんが、ハローワークや労働局の業務は幅広く、入职後に様々な業務を経験することも魅力の一つです。

制度の変更も多いため、業務遂行のために新しい知識を習得する必要はありますが、労働局主催の研修や、所内でのマニュアル作り・勉強会を行って対応しています。日々の業務の中でも、困った時には上司や先輩に相談できる良い環境の職場です。あなたの能力、やる気をこの職場で活かしてみませんか。